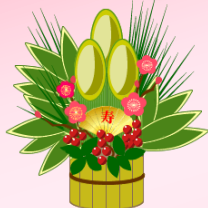


アグリ筑西

2017 1月号



あけましておめでとうございます。
本年もアグリ筑西をよろしく願いいたします。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

～センチュウ対策を学ぶ～

12月15日(木)、筑西合同庁舎第2会議室にてセンチュウ対策勉強会が開催され、主にこだまスイカ・トマトを栽培する管内農家19名が参加しました。

勉強会では、県の研究所職員から、センチュウの種類や、卵から成虫になるまでの生態について説明したあと、防除資材の特徴やセンチュウ密度を下げる対抗植物の作付けなどについての説明がありました。

メーカーからは、殺センチュウ剤のかん注でガスがどこまで届くか、くん蒸やガス抜きの期間と温度の関係など、実際に作業を行う上で重要な内容についての説明がありました。

参加した農家からは、「収穫終了後の根の処理はどうすればよいか」、「ネコブセンチュウはどうやって移動するのか、また、どうして増えるのか」等、積極的に質問が出され、産地としてセンチュウ対策を考える、大変有意義な勉強会となりました。



パイプハウスの大雪対策～降雪時～

除雪を行う場合は、ヘルメット等をかぶる、滑りにくい履物をはく、複数人で作業を行うなど安全を確保しましょう！

事前の融雪対策

- ✓ 加温設備のあるハウスでは、最大限の加温を行い、内部被覆(カーテン)を開放にして、屋根部分の雪を滑り落ちやすいようにします。降り積もってからでは遅いので、必ず積雪前から加温を行います。
- ✓ 加温設備の無いハウスでは、内部を密閉して機密性を高めて、室温を上昇させ、屋根雪を滑り落ちやすくします。ハウス内部に家庭用ストーブなどを持ち込む場合はくれぐれも火災や一酸化炭素中毒に注意しましょう。
- ✓ 散水による除雪・融雪は、雪が積もる前に滑り落とすために行うもので、積雪後は実施してはいけません。

降雪時

- ✓ 降り始めで、ハウスの屋根の雪が払い落とせるうちだけ、安全を確認した上で除雪を始めます。ただし、一旦積もり始めてしまったら、施設倒壊の恐れがあるので、ハウス内に入らないようにしましょう。

事前対策については【2016年11月号の農業いばらき】にも掲載されています。参考にしてください。



真壁高校就農志向者研修会開催



12月5日に、真壁高校では就農を目指す生徒を対象に研修会を開催し、生徒14名が、県立農業大学校の見学と、小美玉市の浜野農業経営士宅での現地研修を行いました。

現地研修では、浜野経営士からイチゴ栽培に関してのデータ利用の重要性や儲かる経営についてお話しいただき、参加した高校生達には農業に対する興味を引き出す良い機会になったようです。

真壁高校が毎年、農業に興味がある生徒や就農志向者を対象に行う本研修に対して、普及センターでは、就農啓発活動の一環として先進農家の視察先選定・現地研修支援を行っています。



梨大苗の共同育苗を行っています！

関城梨組合、下妻市果樹組合連合会は、高樹齢ナシ園の改植・新植を推進するために、ナシ大苗の共同育苗に取り組んでいます。

今年度も生産者とJA及び普及センターが協力して育苗管理しました。下妻では11月28日に注文生産された709本を各生産者のほ場へ届け、12月には次年度に配付する大苗を育てるため、苗木を不織布ポットに定植しました。

普及センターでは、引き続き大苗育苗に関する技術的指導を行っています。



ハウスレタス出荷に向けた講習会

JA北つくば東部レタス部会では、各生産者の生育管理を斉一にするため、育苗現地講習会(9月20日、10月3日)、定植後現地講習会(10月27日、11月29日)を開催しました。

講習会では、各地区の代表生産者のほ場を、生産者・JA・種苗メーカー・普及センターでまわり、種苗メーカーからはレタスの基本的な管理について、普及センターからは天候や現地の状況に合わせた管理方法と病虫害防除について説明しました。

特に今年の育苗期は、曇雨天が長く続いたことから「徒長苗の今後の管理」について、また定植後は「結球前と結球後の換気の方法」「凍霜害(腐敗病)にならないための管理」について重点的に講習しました。

ハウスレタスは、12月5日から出荷が始まり、クリスマス頃には出荷量も増え本格的な出荷となります。



今月は「普及員のひとりごと」をお休みさせていただきます。

皆様からのご意見・情報をお待ちしております。